

⑪自分を大切にする(中学校)

『キッパリ拒否する練習をしよう』

1. 展開案

過程	学習活動	教師の働きかけ	留意すること
わかる	1. 本時のめあてを知る。	<p>○毎日の生活の中で、断りたいのになかなか断れないという経験をした人はいませんか？</p> <p>○その頼みや誘いが「いけないことだ」と自分で感じた時、また誘った相手が知らない人や先輩、あるいは複数の大人だったらみなさんはどのように拒否しますか？</p> <p>○今日は、「できない」と思う相手の要求や誘いを拒否する練習をしましょう。それは自分自身を守り、大切にすることにつながります。</p>	<p>・「拒否する」スキル(「自分を大切にする」スキル)を身に付けることで、自分自身を守り、大切にすることになることに気付かせる。</p>
<p>キッパリ拒否する練習をしよう</p>			
	2. モデリングを見て、拒否するポイントを知る。	<p>○授業を進める上での約束を確認します。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>恥ずかしくない 冷やかさない よいところを見つける</p> </div> <p>○学習の内容に入る前に、みんなの気持ちをほぐすゲームをします。</p>	<p>・約束が必要な理由を添えて説明する。</p> <p>・学習内容が不当な要求や暴力的扱いを拒否する練習であるため、モデリングの前に、生徒の気持ちをほぐすゲームを取り入れる。</p>
	<p>『ジャンケンポンポンゲーム』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生とジャンケンをする。 ・先生が出した後に後出しする。 ・1回目は必ず先生に勝つように出す。5回繰り返す。 ・2回目は必ず先生に負けるように出す。5回繰り返す。 		<p>展開案末参照</p>
	<p>【モデリング】</p> <p>I 消極的な拒否の仕方</p> <p>II 相手を大切にしない拒否の仕方</p> <p>III 自分を大切にしない拒否の仕方</p> <p>IV ポイントを意識した拒否の仕方</p>	<p>○それでは、学習の内容に入ります。</p> <p>○これから4つの拒否の仕方を実際にやってみます。友達から悪いことに誘われ、それを拒否する場面です。どの拒否の仕方がよいか考えながら見てください(「拒否する役」の人)に注目しましょう。</p> <p>○拒否するポイントをまとめましょう。まず、相手との距離を少しとります。相手をきちんと見て、聞こえる声ではっきりと、拒否する言葉を伝えます。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【キッパリ拒否するポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・距離をとる ・相手を見る ・聞こえる声で ・拒否する言葉を使う </div>	<p>・モデリングは、ポイントが分かりやすくなるように演じる。</p> <p>※モデリングシナリオ参照</p> <p>・ポイントは教師が提示する。</p> <p>・イメージがつかみにくいポイントは分かりやすく例示して伝える。</p>

<p>や っ て み る</p>	<p>3. 拒否するポイントに気を付けながら練習①をする。</p> <p>4. グループで話し合い、練習①を振り返る。</p> <p>5. 場面ごとに拒否の仕方を考える。</p> <p>6. 拒否するポイントに気を付けながら、練習②をする。</p> <p>7. グループで話し合い、練習②を振り返る。</p>	<p>○4人組になって、ポイントに気をつけながら、練習①(モデリング④)をしてみましょう。</p> <p>○まず、役割を分担します。始めに役割を決めますが、役割は交代してすべて体験します。</p> <p>○「拒否する役」「相手役」は席を立てて練習します。練習ですので、「相手役」の人は最後に「分かった」と言って、理解を示してください。「観察役」の人は「拒否する役」の人を見て、4つのポイントができているかどうかを観察してください。もし、4つのポイント以外にもよいところがあったら、覚えておいてください。</p> <p>○練習①を振り返りましょう。「観察役」の2人は4つのポイントができていたか、どんなところがよかったか、具体的に振り返ってください。4つのポイント以外でもよいところがあったら、伝えて下さい。</p> <p>○ふり返しシートに自己評価を記入しましょう。</p> <p>○ワークシートに取り組みましょう。4つの場面があります。拒否の言葉を自分で考えて記入してください。記入できそうなところから書いていいです。7分間で取り組みます。</p> <p>○練習②で、特に気をつけたいポイントを決めます。ふり返しシートを見て記入してください。1回目の練習で全部できていた人は新しくポイントを作ってもいいです。</p> <p>○では、練習②を行います。ワークシートの4つの場面で考えた、キッパリ拒否する練習をします。どの場면을練習するかは「拒否する役」の人が決めてください。</p> <p>○4人組になって、4つのポイントに気をつけながら、拒否する練習をしてみましょう。</p> <p>○練習②を振り返りましょう。「観察役」の2人は4つのポイントができていたか、どんなところがよかったか、具体的に振り返ってください。ポイント以外でもよいところがあった</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「拒否する役」「相手役」「観察役(2人)」の役割を分担させる。 ・「役は時計回りでまわす。」など、指示しておくともスムーズに練習できる。 ・練習で上手に断ることができている生徒をその都度褒める。 ・「観察役」は4つのポイント以外でもよいと思ったことを伝えさせる。 ・ふり返しシートを配布し、記入させ、よかった点を振り返らせる。 <p>※ふり返しシート参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定着化の取り組みで授業中に取り組まなかった場면을練習するので、できるだけたくさんの場面に記入させる。 <p>※ワークシート参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふり返しシートとワークシートは両面印刷をしておくとうい。 ・最後の練習では、生徒自身がどのポイントを意識して練習に取り組むかを明確にさせ、練習への動機付けを図る。 ・全員が終わったら、他の場面に挑戦してもよいことを伝える。 ・練習でポイントをおさえて拒否することができている生徒はその都度褒める。
----------------------------------	--	---	--

		<p>ら、伝えて下さい。</p> <p>○ふり返しシートに自己評価を記入しましょう。</p>	
<p>ふりかえる</p>	<p>8. 学習のまとめをする。</p>	<p>○今日は、「相手役」のみなさんは、分かってくれましたが、拒否することが難しい場合もあります。場合によっては逃げたり大きな声で助けを求めたりした方がよい場合もあります。</p> <p>○今日の活動を振り返ります。ふり返しシートに記入しましょう。</p> <p>○今日は、キッパリ拒否する練習をしました。相手が分かってくれるように、気持ちを伝えられて、法律に触れるようなことや、暴力的なことはキッパリ拒否することができると思います。</p> <p>○これからしばらくチャレンジ週間を行います。考えます。帰りの会で、今日皆さんが考えた4つの場面のうち練習②で取り組まなかった場面の練習をします。練習を繰り返して、キッパリ拒否することができるようになります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの下の段に注目させ、拒否することが難しいときの対応のヒントを伝える。 ・ワークシート、ふり返しシートを回収する。 ・「拒否する」スキル(「自分を大切にする」スキル)の意義を押さえ、定着化の取り組み(チャレンジ週間)に向けて、生徒の意欲を高める言葉かけをする。 ・チャレンジ週間の説明をする。 ・生徒の授業の感想を紹介したり、時事ニュースなどを紹介し、その場面に自分がいたらどうするか振り返らせたりするのもよい。 <p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">※チャレンジシート参照</p>

☆「⑩自分を大切にする」の学習内容は、「やってみる」の過程で生徒をロールプレイングに向かわせるためゲーム的な要素を取り入れる工夫が難しいスキルです。そこで、授業のはじめの「わかる」の過程に心をほぐす活動として『ジャンケンポンポンゲーム』を取り入れました。

モデリングシナリオ

***僕(私)**役は教師が行う。

場面設定

休みの日に友達(生徒B)と遊んでいた。お腹がすいてきたので、おやつを買おうと思ってコンビニに寄った。しばらく店内のお菓子をみていたら、友達が僕(私)に耳打ちしてきた。

「この店、店員があんまり見てないらしいよ。黙ってお菓子を持っていっても気づかないってみんな言ってた。俺(私)たちもやってみようよ。」

そう言われて、僕(私)はドキドキし始めた。

「大丈夫だよ。絶対見つからないって。僕(私)がやるから君は見張りをしてくれればいいから。」

そう言って、友達は僕(私)を見つめた。という場面です。その時の、拒否の仕方のモデリングを見てください。

モデリングⅠ 消極的な拒否の仕方

生徒A：「見張りだけならいいけど……。本当に見張りだけだよ。もし君が見つかったら、僕(私)が見張りをしていたことは絶対言わないでね。」

この拒否の仕方、どうだった？

予想される反応：よくない

どんなところがいけなかったのかな？

予想される反応：結局拒否することができなかった、一緒に罪を犯してしまったなど

モデリングⅡ 相手を大切にしない拒否の仕方

生徒A：「君がそんなことをする人だとは思わなかった。やるんだったら君一人でやれよ。僕(私)は黙っておいてやるから。」

この拒否の仕方、どうだった？

予想される反応：よくない

どんなところがいけなかったのかな？

予想される反応：仕返しされそうな気がする、黙っておいてやるっていうのが偉そうなど

モデリングⅢ 自分を大切にしない拒否の仕方

生徒A：「それはまずいよ。お金がないんだったら僕(私)が貸すから。やめようよ。」

この拒否の仕方、どうだった？

予想される反応：よくない

どんなところがいけなかったのかな？

予想される反応：自分が犠牲になっている、この後、お金を要求されそうなど

モデリングⅣ ポイントを意識した拒否の仕方

生徒A：「僕(私)も欲しいお菓子があるけど、そうやって黙って持っていくのはよくないよ。お店の人も困るだろうし、警察に捕まるかもしれないよ。だから僕はやらないよ。君もやめた方がいいよ。」

この拒否の仕方、どうだった？

予想される反応：よかった

どんなところがいけなかったのかな？

予想される反応：相手が自分に頼むのをあきらめそう、友達も止めようと思おうなど

3. 活用場面のアレンジ例

「⑩自分を大切にする」のスキルをどのような場面で用いるか、具体的な学校生活の場面をまとめました。ソーシャルスキル・トレーニングを授業で行う際、モデリングやロールプレイのシナリオをアレンジするときの参考にしてください。また、授業後に、スキルの定着化のための働き掛けにご利用ください。

- ・法律に触れることを頼まれたとき(または誘われたとき)
- ・人を傷つけることを頼まれたとき(または誘われたとき)
- ・危ないことを頼まれたとき(または誘われたとき)
- ・けがをしそうなことを頼まれたとき(または誘われたとき)
- ・人に迷惑を掛けそうなことを頼まれたとき(または誘われたとき)
- ・したくないことをたのまれたとき
- ・嫌なことをされたとき
- ・個人的なことを尋ねられたり、書かされたりするとき
- ・商品の購入や団体への加入を勧誘されたとき